

平成29年3月13日

「水ビジネスの今後の海外展開の方向性」を取りまとめました

経済産業省は、2010年6月に策定した「水ビジネスの国際展開に向けた課題と具体的方策」により推進してきた水ビジネスの国際展開について、現状と課題等を整理した上で、今後の更なる海外展開に向けての調査・検討を行い、我が国水関連企業等による水ビジネスの今後の海外展開の方向性を取りまとめました。

1. 背景及び目的

我が国水関連企業等は、海外の水事業会社等の買収や出資、国内で地方自治体から浄水場等の運用・管理を包括的に委託する事業を担うなど、水ビジネス市場での競争力確保の取組が進展しつつあります。

しかしながら、世界の水ビジネス市場における我が国水関連企業等の市場占有率は0.4%(平成27年3月水ビジネス市場に関する動向調査より試算)と、そのプレゼンスは極めて低い状況にあります。

こうした状況を踏まえ、これまでの取組及び現状を把握、課題等を整理し、今後の我が国水関連企業等における水ビジネスの海外展開の方向性について、関係者の参加を得て、調査・検討を行ったものです。

2. 取りまとめのポイント

今回の取りまとめでは、以下について検討した結果を記載しております。

- (1) 従来の方角性(2010年報告書)
- (2) 我が国の状況・現状認識
- (3) 今後の展開の方角性
- (4) 環境整備・国の支援

※詳しくは、下記リンクの「水ビジネスの今後の海外展開の方角性」及び参考資料をご覧ください。

(本発表資料のお問い合わせ先)

製造産業局国際プラント・インフラシステム・水ビジネス推進室長 玉井

担当者: 加藤、勝見

電話: 03-3501-1511(内線 3825)

03-3501-1760(直通)

03-3501-6588(FAX)